

2021年度 日本工学院専門学校																				
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース																				
音楽基礎B2																				
対象	1年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2									
担当教員	田中絢美			実務経験	有	職種	キーボーディスト													
授業概要																				
<p>音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきちんと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。</p>																				
到達目標																				
<p>様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。</p>																				
授業方法																				
<p>出来るだけ少人数制のグループで授業を行い、理解に合わせて授業を進めていく。授業開始にはかならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、丁寧に指導をすすめ徹底して理解させる。</p>																				
成績評価方法																				
<table> <tr> <td>試験・課題</td><td>70%</td><td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td></tr> <tr> <td>成果発表</td><td>20%</td><td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td></tr> <tr> <td>平常点</td><td>10%</td><td>積極的な姿勢</td></tr> </table>												試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																		
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																		
平常点	10%	積極的な姿勢																		
履修上の注意																				
<p>理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>																				
教科書教材																				
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>																				
回数	授業計画																			
第1回	Cを中心としたダイヤトニックコードの習得																			
第2回	ダイアトニックの機能について理解する																			
第3回	ダイアトニックとスケールとのかかわりについて理解する																			
第4回	スケール上のコードネームについて理解する																			
第5回	ディグリーについての理解																			
第6回	G,Dの♯2つまでのダイヤトニックコードを理解する																			

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
音楽基礎B 2	
第7回	Cキーにおける3和音を中心としたコードの理解
第8回	G, Dの♯2つ、F, B♭の♭2つまでのコードの理解
第9回	A, Eの♯2つ、E♭、A♭の♭2つまでのコードの理解
第10回	cを基準にした4和音を中心としたコードの理解
第11回	セブンス、メジャー・セブンスコードの理解
第12回	ダイヤトニックコードにおける4和音の理解
第13回	コードを理解したうえで再度ダイアトニックの確認
第14回	# ♭5までのダイアトニックの確認
第15回	前期のまとめテスト